

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用	
	性・年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置	
1	男 70代	転移性結腸癌 (C型肝炎)	5mg/kg 1日間	間質性肺炎 投与約11カ月前 投与288日前 投与268日前 投与221日前 投与204日前 投与200日前 投与日 中止10日後 中止20日後 中止21日後 中止23日後 中止26日後 中止32日後 中止36日後 中止49日後 中止56日後 中止80日後 中止82日後 中止113日後	結腸癌初発。 胸部CT所見: 両側肺気腫, 両側網状影(両側陳旧性炎症所見)あり。 S状結腸切除術を施行。 肝部分切除術を施行。 胸部X線所見: 右下肺網状影あり。 転移性結腸癌(肝)に対する治療としてmFOLFOX6投与を開始。 mFOLFOX6, 本剤5mg/kgの併用投与を開始。この回をもってmFOLFOX6, 本剤5mg/kgの投与を中止。 [本剤投与前の身体所見] ・症状: なし。 息切れが出現し, 発熱が加わる。間質性肺炎発現。 外来を受診し, 間質性肺炎と診断される。 [間質性肺疾患発現時の身体所見及び胸部X線/胸部CT所見] ・症状: 乾性咳, 発熱, 倦怠感, 呼吸困難, 易疲労感。 ・胸部X線所見: 左下肺網状影。 ・胸部CT所見: 左下肺に新たな網状影。 入院し, セフェピム塩酸塩水和物4g(中止26日後まで), プレドニゾロン50mgの経口投与を開始。 症状軽快。 軽快退院。 胸部CT所見: 左網状影減少。 胸部X線所見: 左網状影減少。 間質性肺炎は一旦軽快しプレドニゾロンを減量するが, 再燃し感染併発。他院へ転院しステロイドパルス療法を施行後軽快。 薬剤リンパ球刺激試験(DLST)はオキサリプラチン, フルオロウラシル, レボホリナートカルシウムもチェックしたが, 本剤のみ陽性(SI値208%)であった。 当院へ転院。 胸部X線所見: 網状影不変。 胸部CT所見: 網状影不変。 間質性肺炎後遺症あり(在宅酸素療法が必要)。本剤の再投与なし。

臨床検査値

	投与日	中止20日後	中止25日後	中止32日後	中止81日後	中止109日後
白血球数(/mm ³)	3800	7100	15200	15000	8600	13400
LDH(IU/L)	—	—	—	—	296	325
CRP(mg/dL)	0.3	5.1	0.3	0.1	0.6	0.1
KL-6(U/mL)	—	721	—	—	534	544
SP-D(ng/mL)	—	473	—	—	205	288
SP-A(ng/mL)	—	116	—	—	—	—

併用薬: オキサリプラチン, フルオロウラシル, レボホリナートカルシウム

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用	
	性・年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置	
2	男 70代	転移性結腸癌 (糖尿病, 高血 圧)	10mg/kg 2週おきに 13クール	間質性肺炎 投与約4カ月前 投与101日前 投与41日前 投与7日前 投与6日前 投与開始日 投与166日目 (投与中止日) 中止14日後 中止16日後 中止17日後 中止18日後 中止20日後 中止26日後 中止31日後 中止37日後	結腸癌初発(ステージ4)。 左半結腸切除術を施行。 術後補助化学療法として、テガフル・ウラシル投与を施行(投 与28日前まで)。 胸部X線所見:異常なし。 胸部CT所見:肺転移なし, 異常所見なし。 転移性結腸癌(肝)に対する治療として, mFOLFOX6, 本剤 10mg/kgの投与を開始。 mFOLFOX6, 本剤10mg/kgの投与を中止。 間質性肺炎発現。 胸部CT所見:右下肺にわずかにスリガラス状陰影。 倦怠感(グレード1), 食欲不振(グレード1)あり。呼 吸困難感 はほとんどなし。 全身倦怠感の悪化, 呼吸苦, 発熱あり。外来を受診し, 胸部X線 にて間質性肺炎疑われICU入院。点滴, 抗生剤の投与を開始。 症状:呼吸困難, 喀痰, 発熱, 倦怠感。 聴診:ベルクロ・ラ音。 胸部X線所見:右全肺と左上肺野にスリガラス状陰影。 胸部CTにて間質性肺炎が疑われ, 呼吸器科にコンサルト, 薬剤 性間質性肺炎の診断。O2投与(リザーバマスク)開始。 胸部CT所見:右全肺野と左上肺野のスリガラス状陰影。 喀痰検査:Staphylococcus aureus(non MRSA), α- streptococcus検出(コンタミネーションの可能性あり, 口腔菌混 入あり)。β-D-グルカン陰性。 プレドニゾロン40mgの投与を開始。 胸部X線上の著明な改善が認められないため, プレドニゾロン 60mgに増量。マイコプラズマ陰性。 胸部X線上の改善傾向あり, プレドニゾロン50mgに減量。 プレドニゾロン40mgに減量。 間質性肺炎軽快。 胸部X線所見:左肺の異常影はほぼ消失。右肺は依然として全 肺野スリガラス状影が残っているものの, 改善傾向。

臨床検査値

	投与開始日	中止14日後	中止17日後	中止19日後	中止23日後	中止34日後
白血球数(/mm ³)	4700	4700	3600	7100	10500	11300
LDH(IU/L)	658	421	404	428	604	370
CRP(mg/dL)	1.37	6.83	18.14	5.46	1.41	0.15
KL-6(U/mL)	—	—	1310	—	—	—
SP-D(ng/mL)	—	—	698	—	—	—

併用薬:オキサリプラチン, フルオロウラシル, レボホリナートカルシウム, グラニセトロン塩酸塩, デキサメタゾンリン酸エステル
ナトリウム